

平成24年度
第7回市政モニターアンケート
地産地消についての意識調査

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 生鮮食料品の主な購入先	2
(2) よく見かける市内産農林水産物の販売場所	4
(3) 農林水産物を購入する際の基準	5
(4) 農林水産物を購入する際に「産地」を基準とする理由	7
(5) 「産地」を選ぶ時の範囲	8
(6) 市内産農林水産物に対する感想	9
(7) よく購入する市内産農林水産物	10
(7) 市内産農林水産物の販売コーナー設置について	12
(8) 直売所や朝市に足を運んでもらう方法について	13
(9) 市内産農林水産物の販売推進に効果的だと思うこと	14
(10) 「地産地消」についての認知度	14
(11) 地産地消の推進により期待されること	15
(12) キャッチフレーズ「地元いちばん」の認知度	16
(13) 地産地消サポーター制度の認知度	17
(14) 「地元いちばん」の幟(のぼり)を見た経験	18
(15) 「北九州カニ・カキロード」の認知度	
「北九州カニ・カキロード」沿いの「かき小屋」の認知度	19
(16) 知っている市内産農林水産物	21
(17) 知っている市内産農林水産物を食べた経験	23
(18) 食べたことがある市内産農林水産物	24
(19) 食べたことがある市内産農林水産物の感想	26
(20) 「農林水産まつり」・「かき焼き祭り」の認知度	27
(21) 農林水産物の役割	29
(22) 今後の地産地消の推進に対する要望	30
(23) 本市の農林水産物に対する意見	32
IV 全体考察	33

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人
回答者数	120人 (回収率 80.0%)
調査実施日	平成24年10月4日～平成24年11月19日
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査

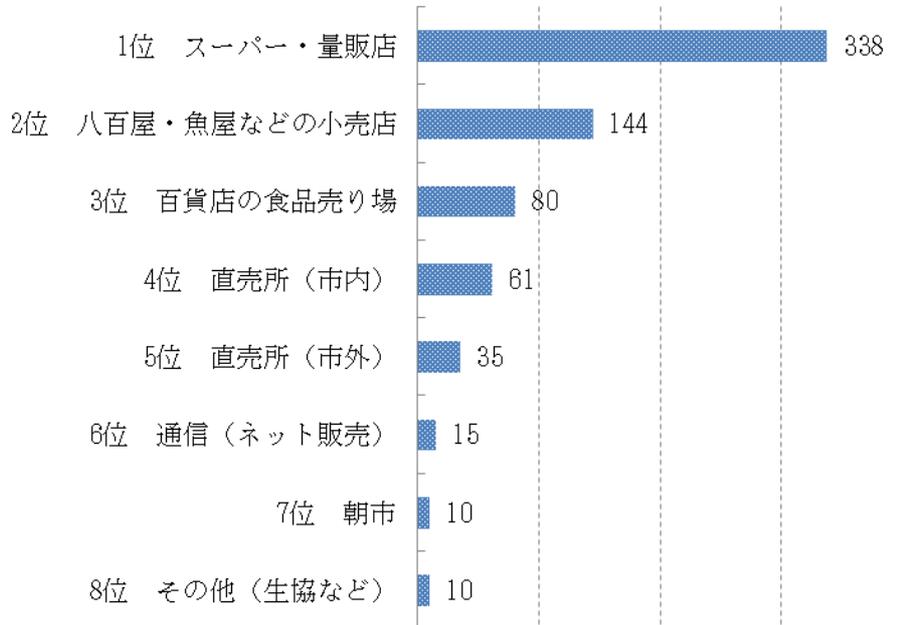
II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	60 (40.0%)	90 (60.0%)	区 別			
				門司区	17 (11.3%)	7 (4.7%)	10 (6.7%)
20歳代	16 (10.7%)	4 (2.7%)	12 (8.0%)	小倉北区	28 (18.7%)	11 (7.3%)	17 (11.3%)
30歳代	32 (21.3%)	10 (6.7%)	22 (14.7%)	小倉南区	32 (21.3%)	13 (8.7%)	19 (12.7%)
40歳代	28 (18.7%)	7 (4.7%)	21 (14.0%)	若松区	13 (8.7%)	5 (3.3%)	8 (5.3%)
50歳代	25 (16.7%)	10 (6.7%)	15 (10.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
60歳代	31 (20.7%)	17 (11.3%)	14 (9.3%)	八幡西区	39 (26.0%)	16 (10.7%)	23 (15.3%)
70歳以上	18 (12.0%)	12 (8.0%)	6 (4.0%)	戸畑区	10 (6.7%)	4 (2.7%)	6 (4.0%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

問1 ご家庭で生鮮食料品を購入する場合、主にどのようなところで買い物をしていますか。
選択肢の中から買い物に行く場所を、よく利用する順に3つまで選んでください。



順位	調査項目	スコア(得点数)
1位	スーパー・量販店	338
2位	八百屋・魚屋などの小売店	144
3位	百貨店の食品売り場	80
4位	直売所(市内)	61
5位	直売所(市外)	35
6位	通信(ネット)販売	15
7位	朝市	10
8位	通信(ネット)販売	10

*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

「スーパー・量販店」が1位で2位の「八百屋・魚屋などの小売店」に2倍以上のスコア差をつけた。常設の直売所がない3区（小倉北、八幡東、戸畑）では、直売所（市内）に足を運ばない傾向がある。

〔 数値は 上段：スコア（得点数）
下段：平均スコア 〕

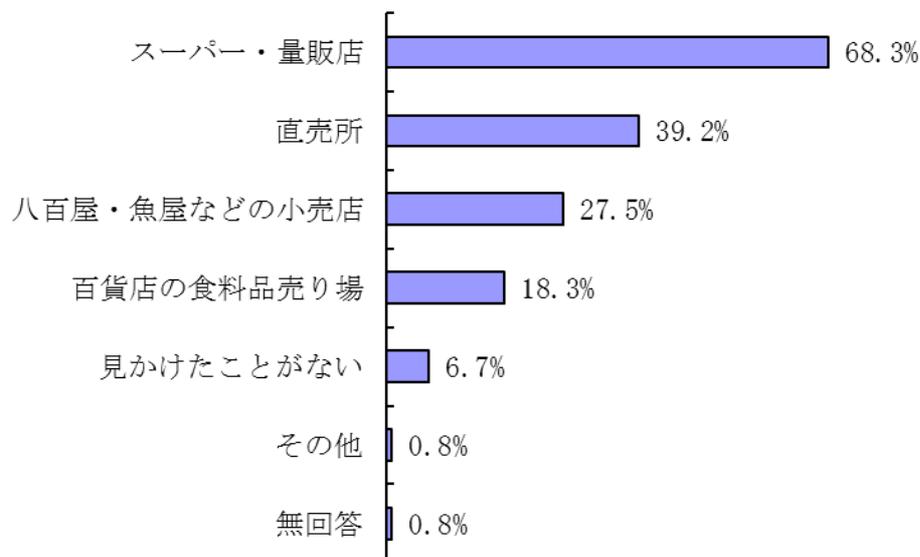
区 分	回答者数	生鮮食料品の購入先（よく利用する順に3つまで）							
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全 体	119	スーパー・量販店 338 2.840	八百屋・魚屋などの小売店 144 1.210	百貨店の食料品売り場 80 0.672	直売所（市内） 61 0.513	直売所（市外） 35 0.294	通信（ネット）販売 15 0.126	朝市 10 0.084	その他（生協など） 10 0.084
性 別	男 性	スーパー・量販店 149 2.865	八百屋・魚屋などの小売店 59 1.135	百貨店の食品売り場 40 0.769	直売所（市内） 26 0.500	直売所（市外） 21 0.404	朝市 7 0.135	その他（生協など） 5 0.096	通信（ネット）販売 4 0.077
	女 性	スーパー・量販店 189 2.821	八百屋・魚屋などの小売店 85 1.269	百貨店の食品売り場 440 6.567	直売所（市内） 35 0.522	直売所（市外） 14 0.209	通信（ネット）販売 11 0.164	朝市 5 0.075	その他（生協など） 3 0.045
年 齢 別	20歳代	スーパー・量販店 30 3.000	八百屋・魚屋などの小売店 13 1.300	百貨店の食品売り場 5 0.500	直売所（市内） 4 0.400	直売所（市外） 3 0.300	通信（ネット）販売 2 0.200	朝市 2 0.100	その他（生協など） 1 0.045
	30歳代	スーパー・量販店 60 3.000	八百屋・魚屋などの小売店 20 1.000	百貨店の食品売り場 15 0.750	直売所（市内） 11 0.550	直売所（市外） 8 0.400	通信（ネット）販売 3 0.150	朝市 2 0.100	その他（生協など） 2 0.050
	40歳代	スーパー・量販店 60 2.727	八百屋・魚屋などの小売店 24 1.091	百貨店の食品売り場 16 0.727	直売所（市内） 14 0.636	直売所（市外） 3 0.136	通信（ネット）販売 2 0.091	朝市 1 0.045	その他（生協など） 1 0.050
	50歳代	スーパー・量販店 57 2.850	八百屋・魚屋などの小売店 29 1.450	百貨店の食品売り場 10 0.500	直売所（市内） 9 0.450	直売所（市外） 4 0.200	通信（ネット）販売 2 0.100	朝市 1 0.050	その他（生協など） 1 0.050
	60歳代	スーパー・量販店 84 2.800	八百屋・魚屋などの小売店 38 1.267	百貨店の食品売り場 19 0.633	直売所（市内） 12 0.400	直売所（市外） 12 0.400	通信（ネット）販売 5 0.167	朝市 3 0.100	その他（生協など） 2 0.067
	70歳以上	スーパー・量販店 47 2.765	八百屋・魚屋などの小売店 20 1.176	百貨店の食品売り場 17 1.000	直売所（市内） 7 0.412	直売所（市外） 5 0.294	通信（ネット）販売 2 0.118	朝市 1 0.059	その他（生協など） 1 0.059
	区 別	門司区	スーパー・量販店 51 3.000	八百屋・魚屋などの小売店 29 1.706	百貨店の食品売り場 6 0.353	直売所（市内） 4 0.235	直売所（市外） 2 0.118	通信（ネット）販売 1 0.059	朝市 1 0.059
小倉北区		スーパー・量販店 61 2.905	八百屋・魚屋などの小売店 26 1.238	百貨店の食品売り場 7 0.333	直売所（市内） 2 0.095	直売所（市外） 2 0.095	通信（ネット）販売 1 0.048	朝市 1 0.038	その他（生協など） 1 0.038
小倉南区		スーパー・量販店 73 2.808	八百屋・魚屋などの小売店 25 0.962	百貨店の食品売り場 24 0.923	直売所（市内） 6 0.231	直売所（市外） 4 0.154	通信（ネット）販売 4 0.154	朝市 1 0.038	その他（生協など） 1 0.038
若松区		スーパー・量販店 38 2.923	八百屋・魚屋などの小売店 15 1.154	百貨店の食品売り場 10 0.769	直売所（市内） 4 0.308	直売所（市外） 2 0.154	通信（ネット）販売 1 0.077	朝市 1 0.077	その他（生協など） 1 0.077
八幡東区		スーパー・量販店 23 2.875	八百屋・魚屋などの小売店 12 1.500	百貨店の食品売り場 4 0.500	直売所（市内） 3 0.375	直売所（市外） 2 0.250	通信（ネット）販売 2 0.250	朝市 2 0.250	その他（生協など） 2 0.250
八幡西区		スーパー・量販店 74 2.643	八百屋・魚屋などの小売店 30 1.071	百貨店の食品売り場 13 0.464	直売所（市内） 7 0.250	直売所（市外） 5 0.179	通信（ネット）販売 5 0.179	朝市 3 0.107	その他（生協など） 2 0.071
戸畑区		スーパー・量販店 18 3.000	八百屋・魚屋などの小売店 9 1.500	百貨店の食品売り場 2 0.333	直売所（市内） 1 0.167	直売所（市外） 1 0.167	通信（ネット）販売 1 0.167	朝市 1 0.167	その他（生協など） 1 0.167

*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

*平均スコアとはスコアを回答者数で割ったもの。小数点以下4位を四捨五入。

（年齢別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため）

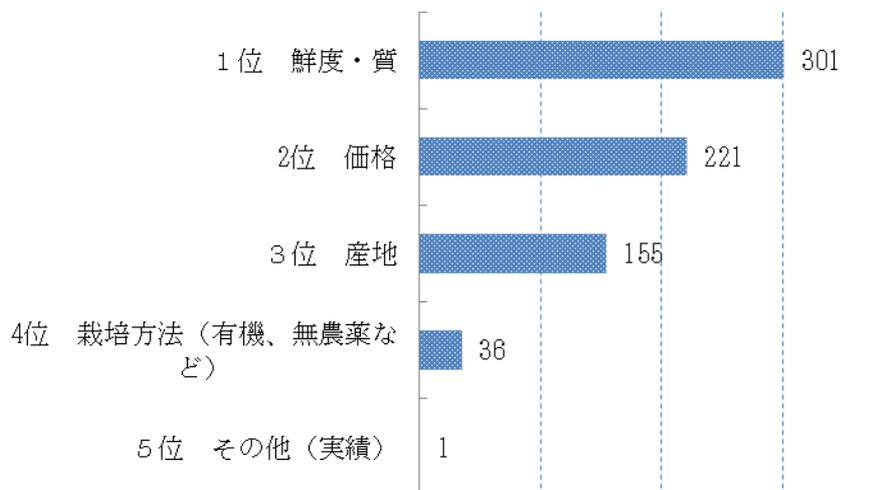
問2 市内産農林水産物の販売を主に何処で見かけますか。選択肢の中から2つまで選んで下さい。



		回答者数	スーパー・量販店	直売所	八百屋・魚屋などの小売店	百貨店の食料品売り場	見かけたことがない	その他	無回答
全体		120人	68.3%	39.2%	27.5%	18.3%	6.7%	0.8%	0.8%
性別	男性	53人	64.2%	41.5%	34.0%	5.7%	9.4%	1.9%	0.0%
	女性	67人	71.6%	37.3%	22.4%	28.4%	4.5%	0.0%	1.5%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	50.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	20人	55.0%	50.0%	20.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	22人	68.2%	40.9%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%
	50歳代	20人	70.0%	20.0%	30.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	30人	66.7%	40.0%	30.0%	23.3%	6.7%	3.3%	0.0%
	70歳以上	18人	88.9%	38.9%	22.2%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	64.7%	17.6%	41.2%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%
	小倉北区	21人	85.7%	33.3%	42.9%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%
	小倉南区	26人	57.7%	46.2%	15.4%	19.2%	7.7%	0.0%	0.0%
	若松区	13人	69.2%	76.9%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	75.0%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	62.1%	41.4%	27.6%	24.1%	10.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	6人	83.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%

市内産農林水産物を見かける主要なものは、前回と同様「スーパー・量販店」「直売所」の順であった。また、問1（購入先）と同様、「スーパー・量販店」が主であった。その他（0.8%）として、「テレビ」という回答があった。

問3 農林水産物の購入についてお聞きします。買い物をするとき、どんなことを基準に品物を選びますか。選択肢の中から、主なものから順番に3つまで選んでください。



順位	調査項目	スコア(得点数)
1位	鮮度・質	301
2位	価格	221
3位	産地	155
4位	栽培方法(有機、無農薬など)	36
5位	その他(実績)	1

*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

農林水産物の購入動機は1位「鮮度・質」、2位「価格」、3位「産地」であった。「20歳代」で「価格」と「鮮度・質」が前回調査と同様に逆転した以外、全ての階層で同じ結果となった。

〔 数値は 上段：スコア（得点数）
下段：平均スコア 〕

区 分	回答者数	買い物をするとき、品物を選ぶ基準（主なものを順番に3つまで）				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体	119	鮮度・質 301 2.529	価格 221 1.857	産地 155 1.303	栽培方法（有機、 無農薬など） 36 0.303	その他（実 績） 1 0.008
性 別	男 性	鮮度・質 129 2.481	価格 102 1.962	産地 62 1.192	栽培方法（有機、 無農薬など） 18 0.346	その他（実 績） 1 0.019
	女 性	鮮度・質 172 2.567	価格 119 1.776	産地 93 1.388	栽培方法（有機、 無農薬など） 18 0.269	
年 齢 別	20歳代	価格 25 2.500	鮮度・質 21 2.100	産地 14 1.400		
	30歳代	鮮度・質 43 2.150	価格 42 2.100	産地 32 1.600	栽培方法（有機、 無農薬など） 3 0.150	
	40歳代	鮮度・質 55 2.500	価格 49 2.227	産地 27 1.227	栽培方法（有機、 無農薬など） 5 0.227	
	50歳代	鮮度・質 52 2.600	価格 38 1.900	産地 34 1.700	栽培方法（有機、 無農薬など） 6 0.300	
	60歳代	鮮度・質 83 2.767	価格 47 1.567	産地 29 0.967	栽培方法（有機、 無農薬など） 11 0.367	
	70歳以上	鮮度・質 47 2.765	価格 24 1.412	産地 16 0.941	栽培方法（有機、 無農薬など） 11 0.647	その他（実 績） 1 0.059
	区 別	門 司 区	鮮度・質 47 2.765	価格 33 1.941	産地 21 1.235	栽培方法（有機、 無農薬など） 4 0.235
	小 倉 北 区	鮮度・質 50 2.381	価格 39 1.857	産地 29 1.381	栽培方法（有機、 無農薬など） 5 0.238	
	小 倉 南 区	鮮度・質 63 2.423	価格 50 1.923	産地 25 0.962	栽培方法（有機、 無農薬など） 6 0.231	
	若 松 区	鮮度・質 49 3.769	価格 21 1.615	産地 15 1.154	栽培方法（有機、 無農薬など） 8 0.615	
	八 幡 東 区	鮮度・質 22 2.750	価格 13 1.625	産地 11 1.375	栽培方法（有機、 無農薬など） 2 0.250	
	八 幡 西 区	鮮度・質 70 2.500	価格 55 1.964	産地 36 1.286	栽培方法（有機、 無農薬など） 3 0.107	その他（実 績） 1 0.036
	戸 畑 区	鮮度・質 15 2.500	価格 10 1.667	産地 6 1.000	有機農産物 5 0.833	

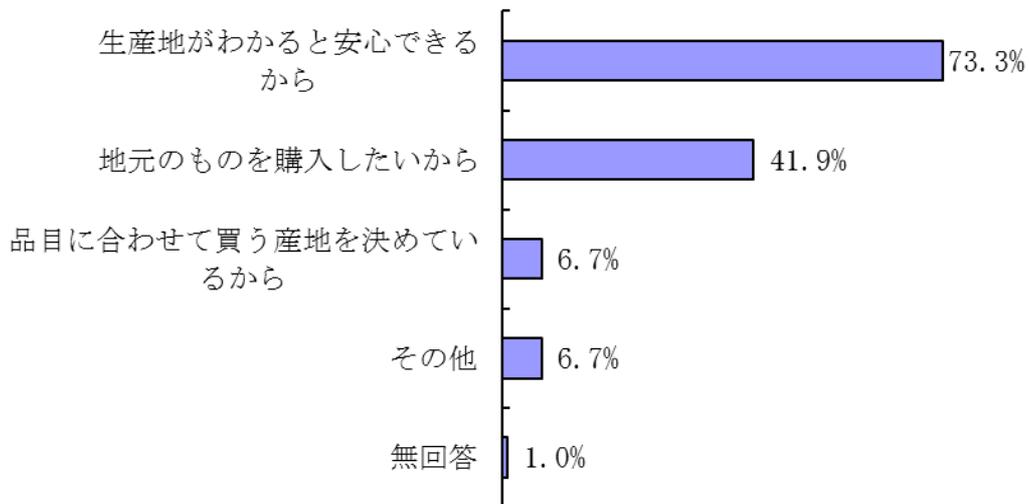
*スコアとは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したものの。

*平均スコアとはスコアを回答者数で割ったもの。小数点以下4位を四捨五入。

（年齢別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため）

<問3で「3 産地」を選んだ方にお尋ねします。>

副問1 「産地」を選んだ理由は何ですか。選択肢の中からいくつでも選んでください。

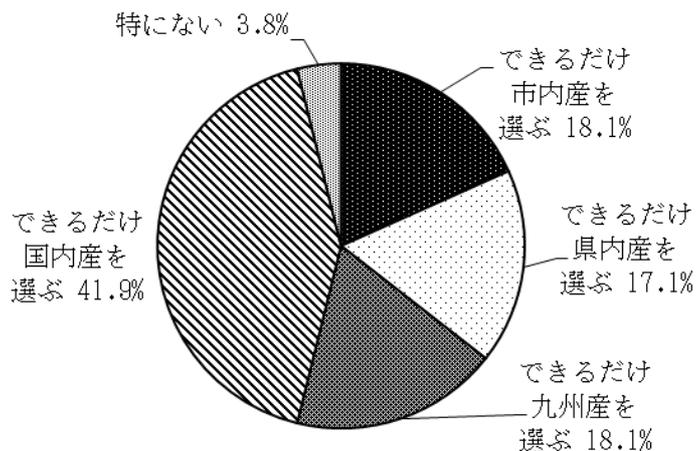


		回答者数	生産地がわかると安心できるから	地元のものを買いたいから	品目に合わせて買う産地を決めているから	その他	無回答
全体		105人	73.3%	41.9%	6.7%	6.7%	1.0%
性別	男性	43人	65.1%	39.5%	7.0%	14.0%	0.0%
	女性	62人	79.0%	43.5%	6.5%	1.6%	1.6%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	30歳代	19人	73.7%	21.1%	0.0%	10.5%	0.0%
	40歳代	21人	66.7%	52.4%	0.0%	9.5%	4.8%
	50歳代	17人	58.8%	52.9%	5.9%	5.9%	0.0%
	60歳代	25人	84.0%	40.0%	16.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	13人	76.9%	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14人	85.7%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%
	小倉北区	19人	84.2%	52.6%	0.0%	10.5%	0.0%
	小倉南区	23人	60.9%	39.1%	8.7%	13.0%	0.0%
	若松区	11人	72.7%	27.3%	27.3%	0.0%	9.1%
	八幡東区	7人	85.7%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	八幡西区	26人	65.4%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5人	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「生産地がわかると安心できる」が多く、ついで「地元のものを買いたい」となった。

<問3で「3 産地」を選んだ方にお尋ねします。>

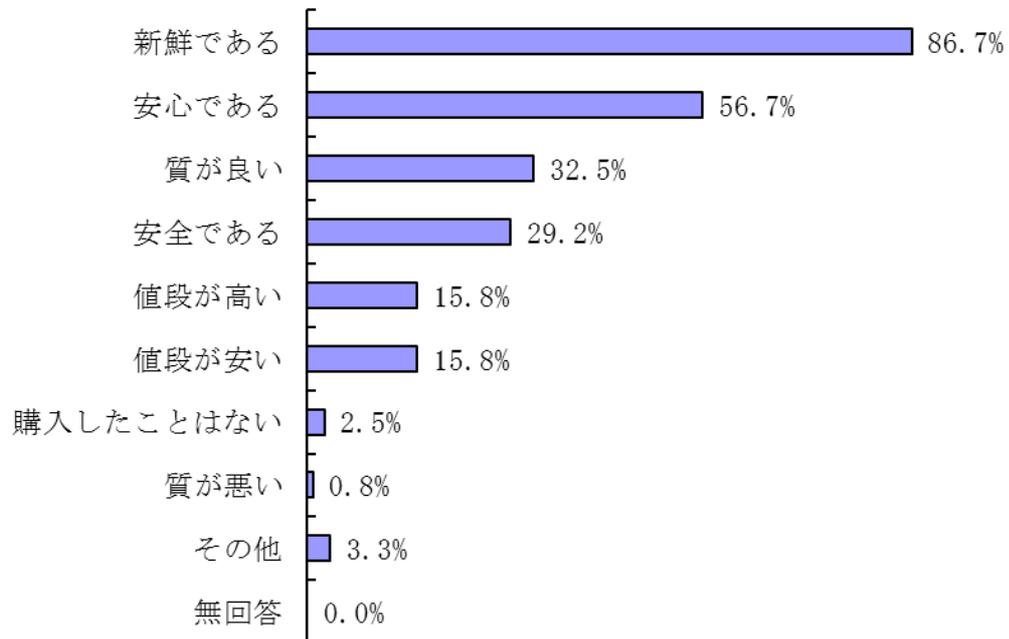
副問2 「産地」を選ぶ時の範囲の基準があれば、選択肢の中から一つ選んでお答え下さい。



		回答者数	できるだけ市内産を選ぶ	できるだけ県内産を選ぶ	できるだけ九州産を選ぶ	できるだけ国内産を選ぶ	特にない
全体		105人	18.1%	17.1%	18.1%	41.9%	3.8%
性別	男性	43人	16.3%	20.9%	14.0%	41.9%	7.0%
	女性	62人	19.4%	14.5%	21.0%	41.9%	1.6%
年齢別	20歳代	10人	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
	30歳代	19人	10.5%	5.3%	26.3%	47.4%	5.3%
	40歳代	21人	14.3%	23.8%	33.3%	23.8%	4.8%
	50歳代	17人	23.5%	17.6%	17.6%	35.3%	5.9%
	60歳代	25人	32.0%	16.0%	8.0%	40.0%	4.0%
	70歳以上	13人	15.4%	38.5%	0.0%	46.2%	0.0%
区別	門司区	14人	21.4%	14.3%	7.1%	64.3%	0.0%
	小倉北区	19人	21.1%	10.5%	36.8%	31.6%	0.0%
	小倉南区	23人	13.0%	21.7%	26.1%	30.4%	8.7%
	若松区	11人	0.0%	9.1%	9.1%	54.5%	18.2%
	八幡東区	7人	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%
	八幡西区	26人	23.1%	23.1%	11.5%	38.5%	0.0%
	戸畑区	5人	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%

前回の結果と比較すると、男女別、年齢別、区別、どれも前回同様「国内産」から選ぶが1位であったが、過半数を超えず、逆に「市内産」「県内産」「九州産」の合計が過半数を超えた。

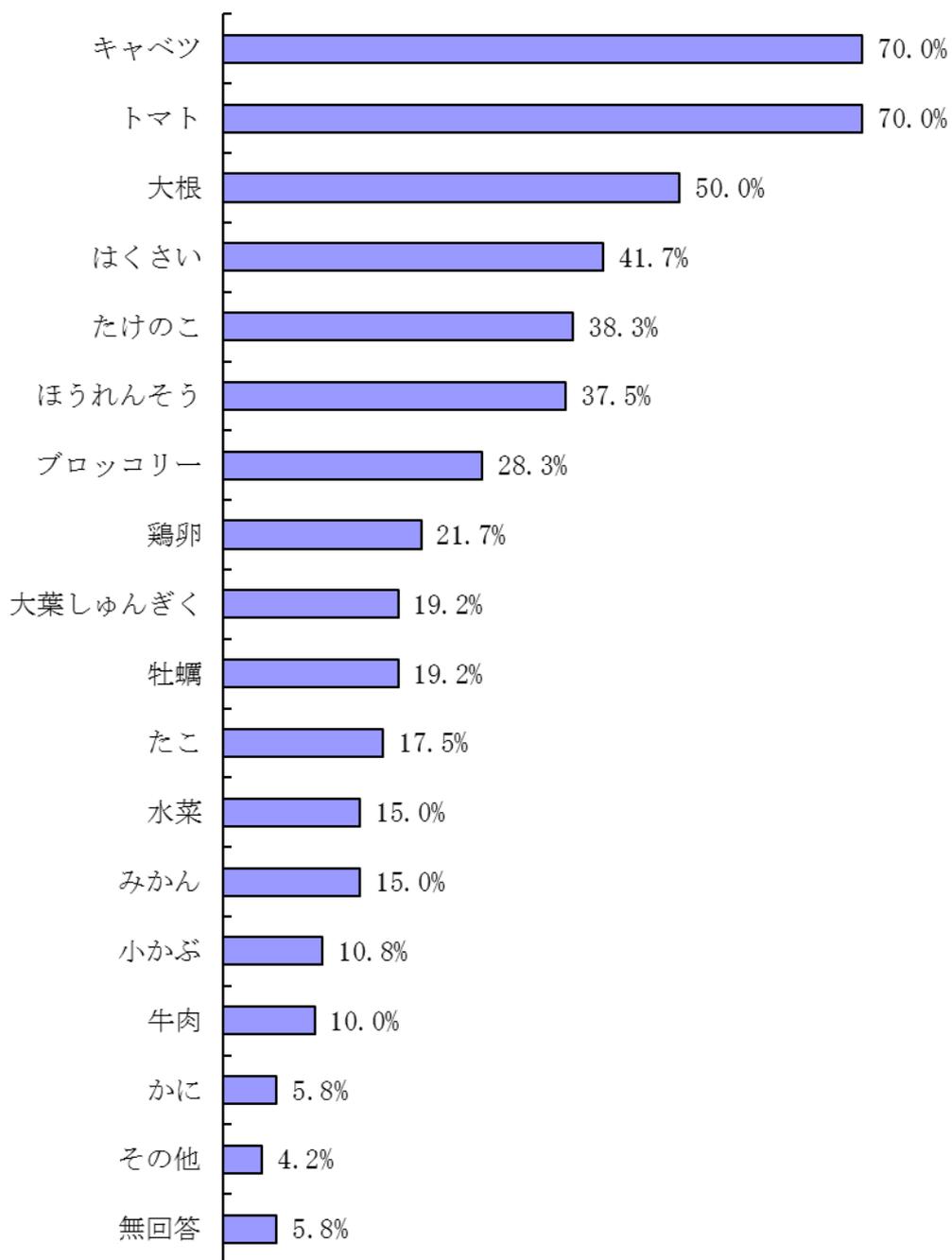
問4 市内産の農林水産物の購入についてお聞きします。市内産農林水産物についてどのような感想をお持ちですか。選択肢の中からいくつでも選んで下さい。



		回答者数	新鮮である	安心である	質が良い	安全である	値段が高い	値段が安い	購入したことはない	質が悪い	その他
全体		120人	86.7%	56.7%	32.5%	29.2%	15.8%	15.8%	2.5%	0.8%	3.3%
性別	男性	53人	84.9%	47.2%	37.7%	20.8%	17.0%	13.2%	1.9%	1.9%	7.5%
	女性	67人	88.1%	64.2%	28.4%	35.8%	14.9%	17.9%	3.0%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	60.0%	20.0%	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	30歳代	20人	80.0%	50.0%	20.0%	30.0%	25.0%	20.0%	5.0%	0.0%	5.0%
	40歳代	22人	81.8%	40.9%	27.3%	22.7%	13.6%	22.7%	9.1%	0.0%	0.0%
	50歳代	20人	95.0%	65.0%	25.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	30人	86.7%	66.7%	46.7%	33.3%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	3.3%
	70歳以上	18人	94.4%	55.6%	44.4%	22.2%	16.7%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%
区別	門司区	17人	70.6%	52.9%	17.6%	23.5%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%	5.9%
	小倉北区	21人	85.7%	66.7%	38.1%	28.6%	23.8%	19.0%	9.5%	0.0%	0.0%
	小倉南区	26人	88.5%	50.0%	42.3%	38.5%	15.4%	11.5%	0.0%	0.0%	7.7%
	若松区	13人	100.0%	53.8%	38.5%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	75.0%	75.0%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	89.7%	51.7%	31.0%	20.7%	13.8%	17.2%	0.0%	3.4%	3.4%
	戸畑区	6人	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「新鮮である」「安心である」が主な感想となった。中でも若松区、戸畑区では「新鮮である」が100%となった。値段に関する感想は前回と同様、「高い」、「安い」が拮抗した結果であった。

問5 農林水産物を購入するとき、市内産のものが店頭にあれば市内産の方をよく購入するものがありますか。選択肢の中からいくつでも選んで下さい。



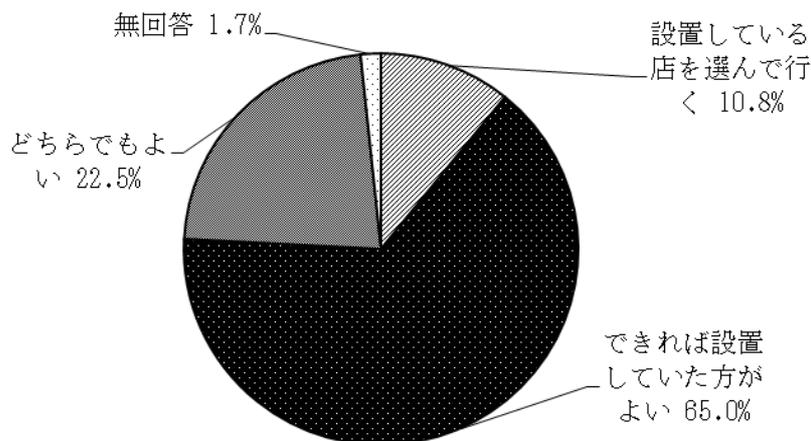
市内産を選ぶ農林水産物に関する設問では「キャベツ」「トマト」が1位であった。前回と同様、上位（1位～5位）5品目に入れ替わりはなく、牡蠣が11位→10位、たこが13位→11位となった。

問5クロス集計表

		回答者数	キャベツ	トマト	大根	はくさい	たけのこ	ほうれんそう	ブロッコリー	鶏卵	大葉しゅんぎく
全体		120人	70.0%	70.0%	50.0%	41.7%	38.3%	37.5%	28.3%	21.7%	19.2%
性別	男性	53人	71.7%	60.4%	45.3%	41.5%	32.1%	32.1%	17.0%	20.8%	13.2%
	女性	67人	68.7%	77.6%	53.7%	41.8%	43.3%	41.8%	37.3%	22.4%	23.9%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	60.0%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	30.0%	30.0%	20.0%
	30歳代	20人	60.0%	65.0%	35.0%	35.0%	25.0%	20.0%	25.0%	15.0%	10.0%
	40歳代	22人	54.5%	59.1%	22.7%	13.6%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	4.5%
	50歳代	20人	70.0%	75.0%	60.0%	60.0%	30.0%	55.0%	45.0%	35.0%	35.0%
	60歳代	30人	83.3%	76.7%	66.7%	56.7%	60.0%	46.7%	33.3%	23.3%	30.0%
	70歳以上	18人	72.2%	77.8%	72.2%	50.0%	44.4%	44.4%	16.7%	22.2%	11.1%
区別	門司区	17人	41.2%	58.8%	29.4%	23.5%	41.2%	23.5%	17.6%	23.5%	5.9%
	小倉北区	21人	66.7%	66.7%	42.9%	42.9%	28.6%	38.1%	19.0%	23.8%	19.0%
	小倉南区	26人	73.1%	76.9%	65.4%	65.4%	46.2%	50.0%	34.6%	23.1%	26.9%
	若松区	13人	76.9%	53.8%	46.2%	23.1%	30.8%	30.8%	23.1%	7.7%	30.8%
	八幡東区	8人	62.5%	87.5%	75.0%	62.5%	37.5%	37.5%	62.5%	37.5%	25.0%
	八幡西区	29人	79.3%	72.4%	41.4%	37.9%	37.9%	34.5%	31.0%	20.7%	13.8%
	戸畑区	6人	100.0%	83.3%	83.3%	16.7%	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%

		牡蠣	たこ	水菜	みかん	小かぶ	牛肉	かに	その他	無回答
全体		19.2%	17.5%	15.0%	15.0%	10.8%	10.0%	5.8%	4.2%	5.8%
性別	男性	17.0%	13.2%	11.3%	7.5%	3.8%	3.8%	9.4%	1.9%	9.4%
	女性	20.9%	20.9%	17.9%	20.9%	16.4%	14.9%	3.0%	6.0%	3.0%
年齢別	20歳代	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	30歳代	30.0%	10.0%	25.0%	15.0%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%	10.0%
	40歳代	4.5%	22.7%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%
	50歳代	20.0%	15.0%	20.0%	15.0%	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	16.7%	23.3%	10.0%	16.7%	16.7%	10.0%	6.7%	0.0%	6.7%
	70歳以上	22.2%	16.7%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%
区別	門司区	35.3%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%
	小倉北区	4.8%	14.3%	14.3%	19.0%	4.8%	9.5%	0.0%	9.5%	9.5%
	小倉南区	34.6%	26.9%	30.8%	15.4%	19.2%	19.2%	19.2%	3.8%	11.5%
	若松区	15.4%	15.4%	7.7%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%
	八幡東区	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	八幡西区	10.3%	10.3%	10.3%	13.8%	10.3%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

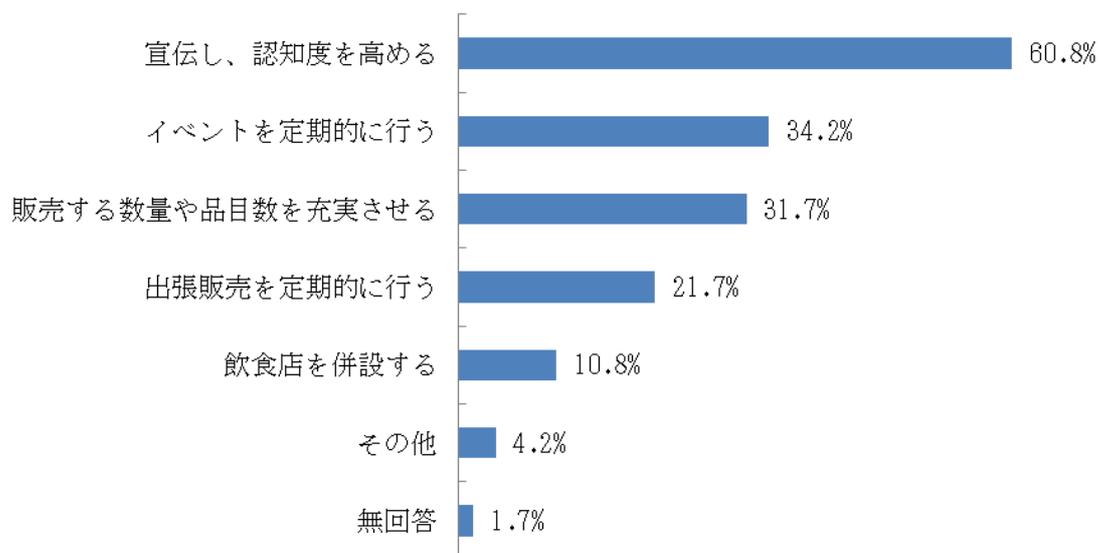
問6 最近は、市内産や特定地域の農林水産物の販売コーナーを設けた販売店が増えています。このような販売コーナーの設置の有無は、店舗選びに関係していますか。選択肢の中から一つだけ選んでください。



		回答者数	設置している店を選んで行く	できれば設置していた方がよい	どちらでもよい	無回答
全体		120人	10.8%	65.0%	22.5%	1.7%
性別	男性	53人	15.1%	56.6%	28.3%	0.0%
	女性	67人	7.5%	71.6%	17.9%	3.0%
年齢別	20歳代	10人	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	20人	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%
	40歳代	22人	9.1%	77.3%	13.6%	0.0%
	50歳代	20人	15.0%	60.0%	20.0%	5.0%
	60歳代	30人	20.0%	60.0%	16.7%	3.3%
	70歳以上	18人	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%
区別	門司区	17人	11.8%	64.7%	23.5%	0.0%
	小倉北区	21人	9.5%	66.7%	23.8%	0.0%
	小倉南区	26人	11.5%	65.4%	19.2%	3.8%
	若松区	13人	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
	八幡東区	8人	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%
	八幡西区	29人	0.0%	62.1%	34.5%	3.4%
	戸畑区	6人	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%

前回の結果と比較すると、「設置している店を選んで行く」は18.4%→10.8%に減少した。そして、「できれば設置していた方がよい」は63.1%→65.0%に増加した。

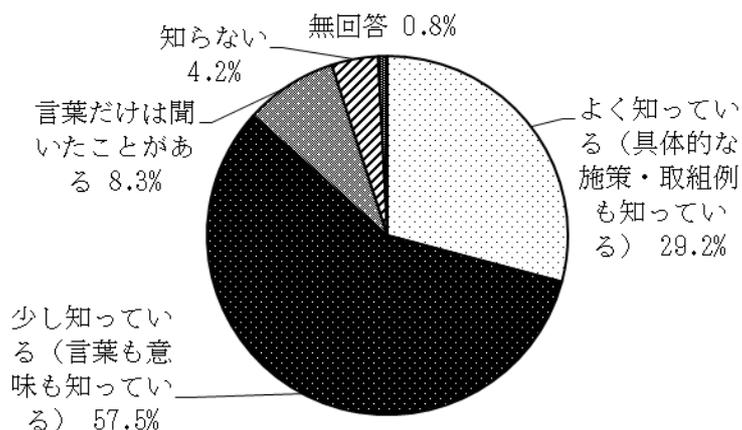
問7 北九州市には多くの直売所や朝市がありますが、もっと多くの方に直売所や朝市に足を運んでもらうためには、どうすればいいと思いますか。選択肢の中から2つまで選んで下さい。



		回答者数	宣伝し、認知度を高める	イベントを定期的に行う	販売する数量や品目数を充実させる	出張販売を定期的に行う	飲食店を併設する	その他	無回答
全体		120人	60.8%	34.2%	31.7%	21.7%	10.8%	4.2%	1.7%
性別	男性	53人	60.4%	28.3%	32.1%	22.6%	7.5%	7.5%	1.9%
	女性	67人	61.2%	38.8%	31.3%	20.9%	13.4%	1.5%	1.5%
年齢別	20歳代	10人	70.0%	50.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	20人	50.0%	50.0%	30.0%	25.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	22人	63.6%	31.8%	18.2%	9.1%	22.7%	0.0%	4.5%
	50歳代	20人	80.0%	30.0%	35.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	30人	56.7%	26.7%	40.0%	23.3%	13.3%	10.0%	3.3%
	70歳以上	18人	50.0%	27.8%	38.9%	38.9%	0.0%	5.6%	0.0%
区別	門司区	17人	70.6%	23.5%	23.5%	29.4%	5.9%	5.9%	5.9%
	小倉北区	21人	85.7%	23.8%	23.8%	14.3%	4.8%	9.5%	0.0%
	小倉南区	26人	53.8%	38.5%	30.8%	23.1%	15.4%	3.8%	0.0%
	若松区	13人	46.2%	23.1%	53.8%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	75.0%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	37.9%	58.6%	34.5%	10.3%	13.8%	0.0%	3.4%
	戸畑区	6人	100.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%

「宣伝し、認知度を高める」(60.8%) が高く、次いで「イベントを定期的に行う」(34.2%) 「販売数量や品目数を充実させる」(31.7%) の順となった。

問8 「地産地消」という言葉をご存じですか。



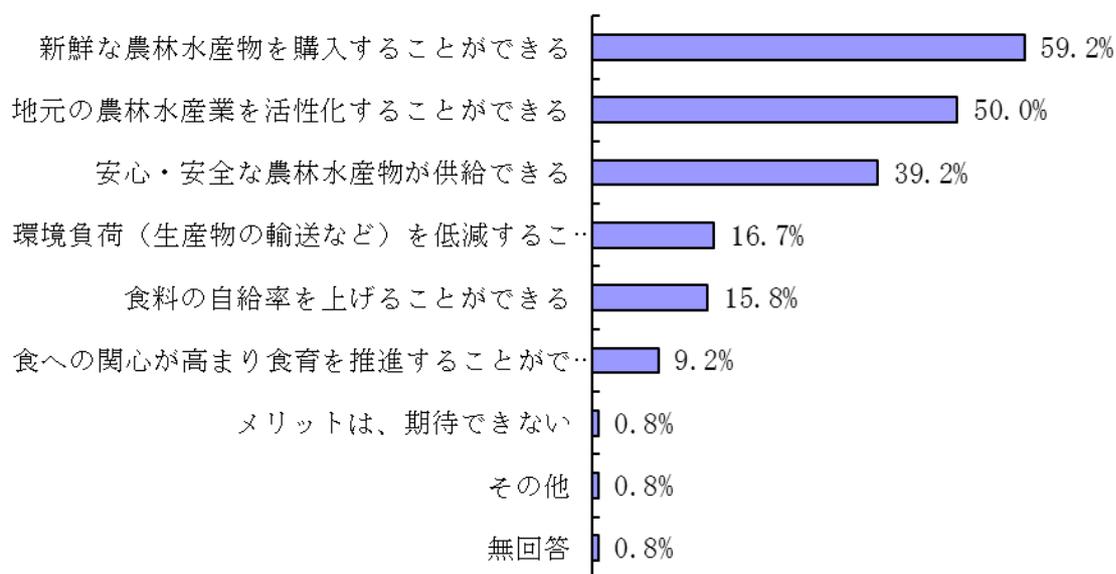
～地産地消とは～

「地産地消」とは地元で生産されたものを地元で消費するという意味です。地元の新鮮で、安心・安全な食材を提供し、生産者と消費者のコミュニケーション、農林水産業や食に対する理解を深めようというものです。本市でも様々な施策を展開しています。

		回答者数	よく知っている (具体的な施策・取組例も知っている)	少し知っている (言葉も意味も知っている)	言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答
全体		120人	29.2%	57.5%	8.3%	4.2%	0.8%
性別	男性	53人	39.6%	50.9%	3.8%	3.8%	1.9%
	女性	67人	20.9%	62.7%	11.9%	4.5%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	20人	15.0%	65.0%	15.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	22人	22.7%	54.5%	13.6%	9.1%	0.0%
	50歳代	20人	20.0%	60.0%	10.0%	5.0%	5.0%
	60歳代	30人	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	18人	50.0%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	11.8%	64.7%	17.6%	5.9%	0.0%
	小倉北区	21人	19.0%	71.4%	9.5%	0.0%	0.0%
	小倉南区	26人	34.6%	42.3%	15.4%	7.7%	0.0%
	若松区	13人	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	34.5%	58.6%	0.0%	3.4%	3.4%
	戸畑区	6人	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%

前回の結果と比較すると「知らない」(6.4%→4.2%)が減少した。

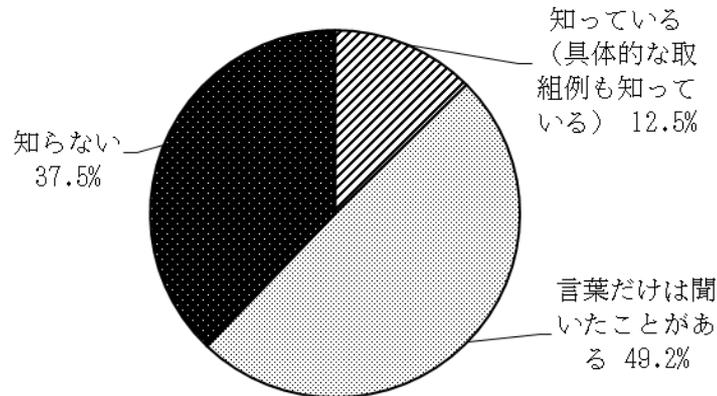
問9 「地産地消」は、消費者、生産者相互にメリットがあると考えていますが、あなたは地産地消の推進によって、どのようなメリットを期待しますか。選択肢の中から2つまで選んで下さい。



		回答者数	新鮮な農林水産物を購入することができる	地元の農林水産業を活性化することができる	安心・安全な農林水産物が供給できる	環境負荷（生産物の輸送など）を低減することができる	食料の自給率を上げることができる	食への関心が高まり食育を推進することができる	メリットは、期待できない	その他	無回答
全体		120人	59.2%	50.0%	39.2%	16.7%	15.8%	9.2%	0.8%	0.8%	0.8%
性別	男性	53人	54.7%	49.1%	37.7%	22.6%	13.2%	11.3%	1.9%	1.9%	0.0%
	女性	67人	62.7%	50.7%	40.3%	11.9%	17.9%	7.5%	0.0%	0.0%	1.5%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	30歳代	20人	40.0%	60.0%	50.0%	25.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	22人	50.0%	50.0%	31.8%	22.7%	18.2%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	20人	80.0%	35.0%	35.0%	5.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	30人	70.0%	46.7%	33.3%	23.3%	23.3%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	18人	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	58.8%	47.1%	41.2%	11.8%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	21人	57.1%	42.9%	47.6%	19.0%	9.5%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	26人	61.5%	34.6%	50.0%	15.4%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%
	若松区	13人	53.8%	61.5%	23.1%	23.1%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	62.5%	50.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	55.2%	62.1%	17.2%	24.1%	27.6%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	6人	83.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

第1位は「新鮮な農林水産物を購入することができる」、第2位は「地元の農林水産業を活性化することができる」、第3位は「安心・安全な農林水産物が供給できる」であった。前回の結果と比べると1位と2位が入れ替わったが、ほぼ同様の結果であった。

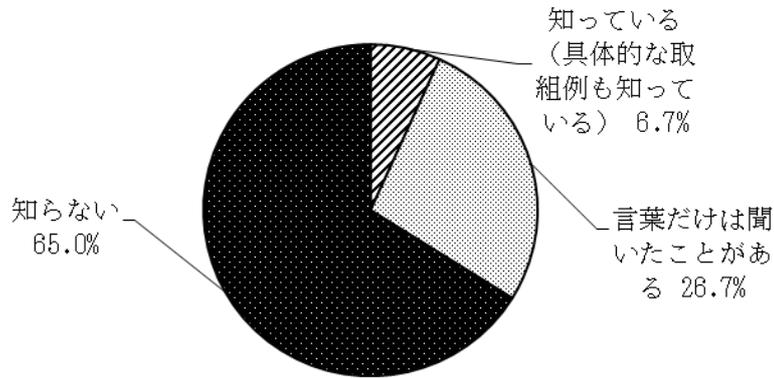
問10 北九州市では「地元いちばん」をキャッチフレーズに地産地消を推進しています。
あなたは「地元いちばん」という言葉をご存知ですか。



		回答者数	知っている (具体的な取組例も知っている)	言葉だけは聞いたことがある	知らない
全体		120人	12.5%	49.2%	37.5%
性別	男性	53人	17.0%	47.2%	35.8%
	女性	67人	9.0%	50.7%	38.8%
年齢別	20歳代	10人	20.0%	40.0%	40.0%
	30歳代	20人	0.0%	45.0%	55.0%
	40歳代	22人	9.1%	50.0%	40.9%
	50歳代	20人	25.0%	40.0%	35.0%
	60歳代	30人	13.3%	50.0%	33.3%
	70歳以上	18人	11.1%	66.7%	22.2%
区別	門司区	17人	5.9%	47.1%	47.1%
	小倉北区	21人	14.3%	57.1%	28.6%
	小倉南区	26人	23.1%	42.3%	30.8%
	若松区	13人	7.7%	38.5%	53.8%
	八幡東区	8人	37.5%	37.5%	25.0%
	八幡西区	29人	3.4%	55.2%	41.4%
	戸畑区	6人	0.0%	66.7%	33.3%

前回の結果と比較すると「知らない」(51.1%→37.5%)は減少し、「知っている」「言葉だけは聞いたことがある」(49.0%→61.7%)の合計は増加した。

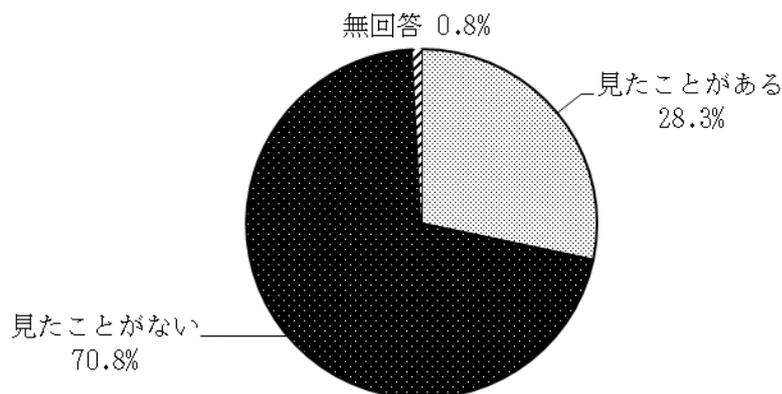
問11 生産者や消費者、販売店、飲食店などで地産地消を推進する「サポーター」を募集する事業を展開しています。この「サポーター」制度についてご存じですか。



		回答者数	知っている（具体的な取組例も知っている）	言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答
全体		120人	6.7%	26.7%	65.0%	0.0%
性別	男性	53人	5.7%	26.4%	67.9%	0.0%
	女性	67人	7.5%	26.9%	62.7%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%
	30歳代	20人	5.0%	35.0%	60.0%	0.0%
	40歳代	22人	4.5%	13.6%	81.8%	0.0%
	50歳代	20人	10.0%	30.0%	60.0%	0.0%
	60歳代	30人	6.7%	30.0%	60.0%	0.0%
	70歳以上	18人	5.6%	27.8%	66.7%	0.0%
区別	門司区	17人	5.9%	23.5%	70.6%	0.0%
	小倉北区	21人	9.5%	38.1%	52.4%	0.0%
	小倉南区	26人	3.8%	23.1%	65.4%	0.0%
	若松区	13人	7.7%	15.4%	76.9%	0.0%
	八幡東区	8人	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	29人	3.4%	27.6%	69.0%	0.0%
	戸畑区	6人	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%

前回の結果とほぼ同様の結果であった。

問12 この事業では、サポーターのお店には「地元いちばん」の幟(のぼり)を立てています。
この幟を見たことがありますか。

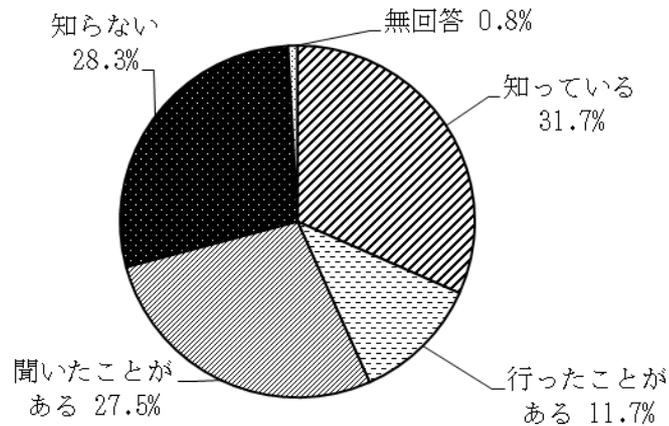


		回答者数	見たことがある	見たことがない	無回答
全 体		120人	28.3%	70.8%	0.8%
性別	男 性	53人	26.4%	71.7%	1.9%
	女 性	67人	29.9%	70.1%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	70.0%	0.0%
	30歳代	20人	25.0%	75.0%	0.0%
	40歳代	22人	18.2%	81.8%	0.0%
	50歳代	20人	40.0%	60.0%	0.0%
	60歳代	30人	30.0%	70.0%	0.0%
	70歳以上	18人	27.8%	66.7%	5.6%
区別	門司区	17人	11.8%	88.2%	0.0%
	小倉北区	21人	42.9%	57.1%	0.0%
	小倉南区	26人	34.6%	65.4%	0.0%
	若松区	13人	23.1%	76.9%	0.0%
	八幡東区	8人	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡西区	29人	24.1%	72.4%	3.4%
	戸畑区	6人	33.3%	66.7%	0.0%

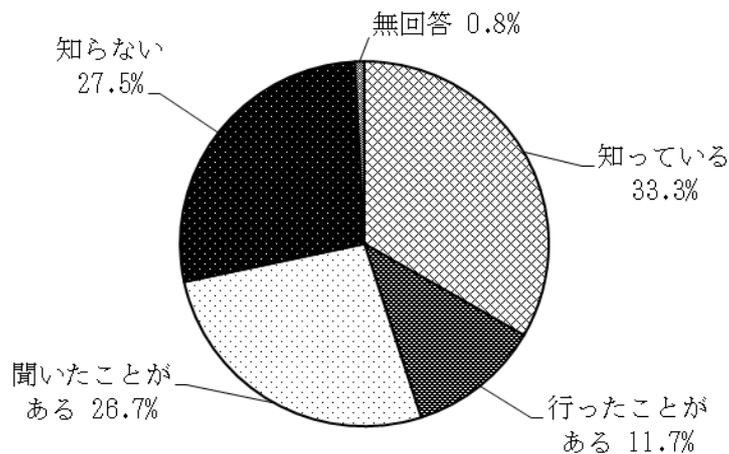
前回の結果と比較すると「見たことがある」(26.2%→28.3%)が増加し、「見たことがない」(72.3%→70.8%)が減少した。

問13 豊前海沿岸で獲れる「豊前本ガニ」や養殖が盛んな「豊前海一粒かき」の産地化を図るため、小倉南区から門司区にかけての主に周防灘沿岸を走る道路を「北九州カニ・カキロード」と名付けて、PRしています。

副問1 あなたは「北九州カニ・カキロード」についてご存じですか。



副問2 「北九州カニ・カキロード」沿いの「かき小屋」をご存じですか。



「北九州カニ・カキロード」については、「知っている」「行ったことがある」「聞いたことがある」を合わせると7割以上が認知しており、「知らない」(42.6%→28.3%)が減少した。

「かき小屋」についてもほぼ同様の結果であった。

特に、若松区においては、「北九州カニ・カキロード」「かき小屋」の認知度が低かった。

問1 3クロス集計表

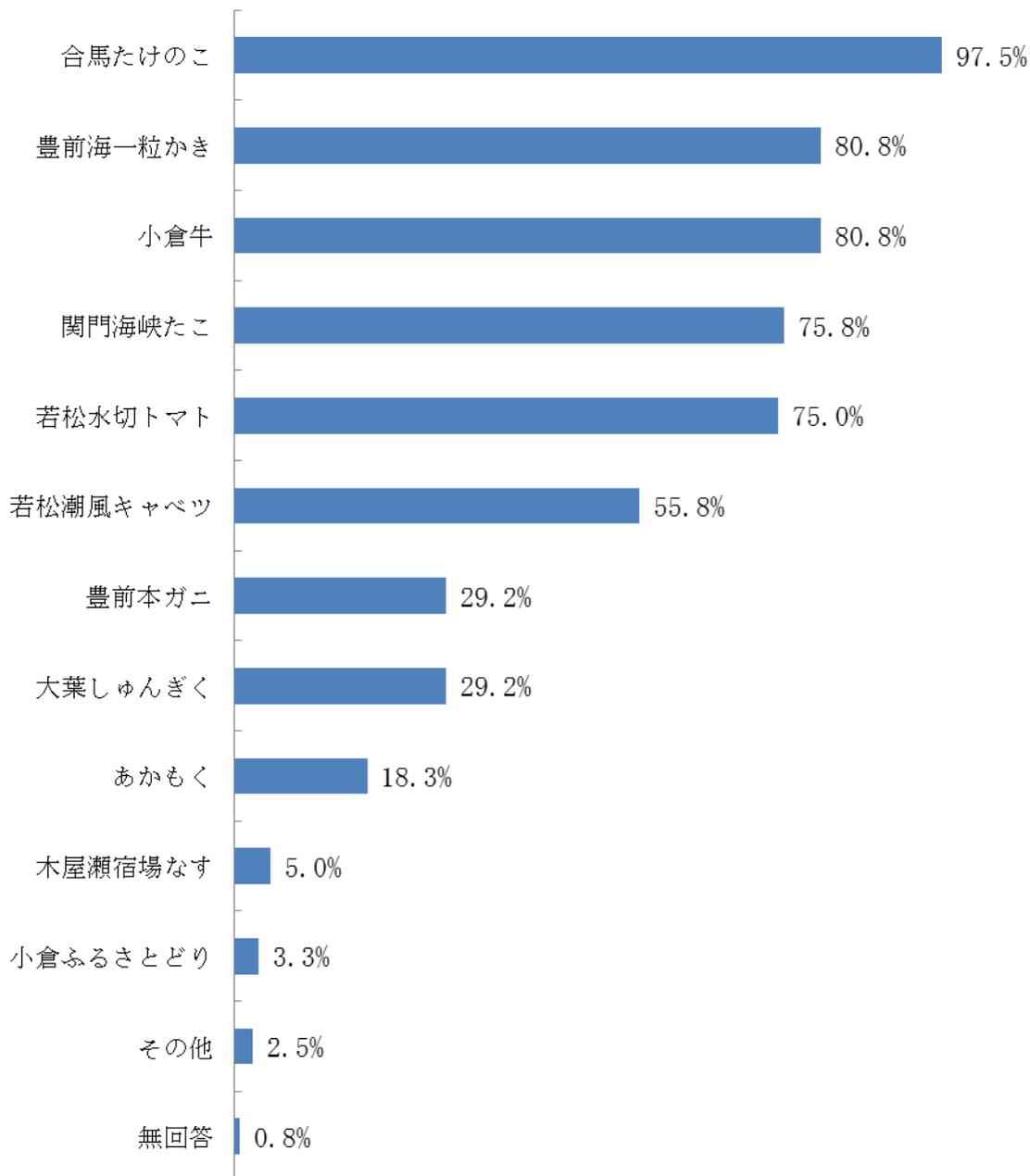
副問1「北九州カニ・カキロード」について

		回答者数	知っている	行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
全体		120人	31.7%	11.7%	27.5%	28.3%	0.8%
性別	男性	53人	35.8%	20.8%	20.8%	20.8%	1.9%
	女性	67人	28.4%	4.5%	32.8%	34.3%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	30歳代	20人	30.0%	20.0%	10.0%	35.0%	5.0%
	40歳代	22人	40.9%	0.0%	27.3%	31.8%	0.0%
	50歳代	20人	35.0%	15.0%	30.0%	20.0%	0.0%
	60歳代	30人	26.7%	16.7%	33.3%	23.3%	0.0%
	70歳以上	18人	27.8%	5.6%	33.3%	33.3%	0.0%
区別	門司区	17人	41.2%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%
	小倉北区	21人	19.0%	9.5%	33.3%	38.1%	0.0%
	小倉南区	26人	57.7%	7.7%	11.5%	19.2%	3.8%
	若松区	13人	15.4%	0.0%	38.5%	46.2%	0.0%
	八幡東区	8人	62.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	八幡西区	29人	10.3%	17.2%	37.9%	34.5%	0.0%
	戸畑区	6人	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%

問1 3副問2「かき小屋」について

		回答者数	知っている	行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
全体		120人	33.3%	11.7%	26.7%	27.5%	0.8%
性別	男性	53人	45.3%	17.0%	17.0%	20.8%	0.0%
	女性	67人	23.9%	7.5%	34.3%	32.8%	1.5%
年齢別	20歳代	10人	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	0.0%
	30歳代	20人	35.0%	5.0%	30.0%	30.0%	0.0%
	40歳代	22人	36.4%	4.5%	22.7%	36.4%	0.0%
	50歳代	20人	25.0%	20.0%	30.0%	25.0%	0.0%
	60歳代	30人	36.7%	20.0%	23.3%	20.0%	0.0%
	70歳以上	18人	27.8%	5.6%	27.8%	33.3%	5.6%
区別	門司区	17人	35.3%	17.6%	35.3%	11.8%	0.0%
	小倉北区	21人	23.8%	9.5%	33.3%	28.6%	4.8%
	小倉南区	26人	57.7%	15.4%	3.8%	23.1%	0.0%
	若松区	13人	23.1%	0.0%	30.8%	46.2%	0.0%
	八幡東区	8人	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	八幡西区	29人	13.8%	13.8%	37.9%	34.5%	0.0%
	戸畑区	6人	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%

問 14 北九州市には、新鮮で質の良い食材がたくさんありますが、選択肢の中から知っている食材をすべて選んでください。

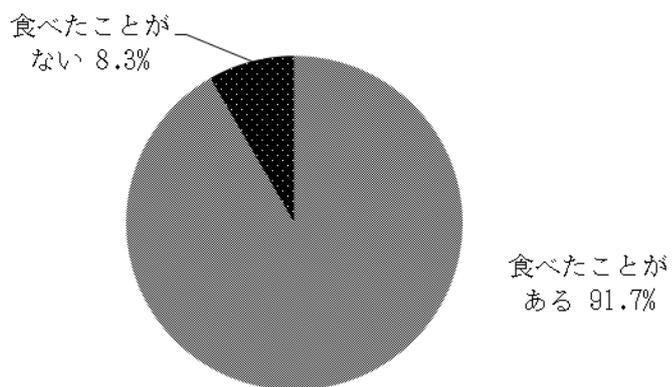


ほとんどの人が「合馬たけのこ」(97.5%)を知っており、「豊前海一粒かき」「小倉牛」(80.8%)「関門海峡たこ」(75.8%)の北九州ブランドの認知度が高く、次いで「若松水切りトマト」(75.0%)となった。

		回答者数	合馬たけのこ	豊前海一粒かき	小倉牛	関門海峡たこ	若松水切トマト	若松潮風キャベツ
全体		120人	97.5%	80.8%	80.8%	75.8%	75.0%	55.8%
性別	男性	53人	98.1%	88.7%	75.5%	81.1%	69.8%	56.6%
	女性	67人	97.0%	74.6%	85.1%	71.6%	79.1%	55.2%
年齢別	20歳代	10人	90.0%	70.0%	80.0%	70.0%	80.0%	60.0%
	30歳代	20人	100.0%	80.0%	75.0%	65.0%	85.0%	45.0%
	40歳代	22人	95.5%	86.4%	90.9%	77.3%	81.8%	54.5%
	50歳代	20人	100.0%	70.0%	95.0%	80.0%	65.0%	55.0%
	60歳代	30人	96.7%	86.7%	80.0%	83.3%	70.0%	70.0%
	70歳以上	18人	100.0%	83.3%	61.1%	72.2%	72.2%	44.4%
区別	門司区	17人	100.0%	88.2%	94.1%	82.4%	70.6%	41.2%
	小倉北区	21人	85.7%	85.7%	81.0%	81.0%	52.4%	28.6%
	小倉南区	26人	100.0%	76.9%	84.6%	80.8%	76.9%	46.2%
	若松区	13人	100.0%	76.9%	61.5%	61.5%	92.3%	61.5%
	八幡東区	8人	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%	75.0%	50.0%
	八幡西区	29人	100.0%	75.9%	72.4%	62.1%	82.8%	82.8%
	戸畑区	6人	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%

		豊前本ガニ	大葉しゅんぎく	あかもく	木屋瀬宿場なす	小倉ふるさとどり	その他	無回答
全体		29.2%	29.2%	18.3%	5.0%	3.3%	2.5%	0.8%
性別	男性	35.8%	26.4%	7.5%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%
	女性	23.9%	31.3%	26.9%	4.5%	6.0%	3.0%	1.5%
年齢別	20歳代	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	30.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	13.6%	27.3%	27.3%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%
	50歳代	30.0%	20.0%	15.0%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	36.7%	40.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	38.9%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	29.4%	35.3%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
	小倉北区	28.6%	14.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%
	小倉南区	38.5%	26.9%	15.4%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%
	若松区	15.4%	30.8%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	八幡東区	25.0%	50.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	31.0%	27.6%	24.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問15 問14 で選んだ食材を食べたことがありますか。

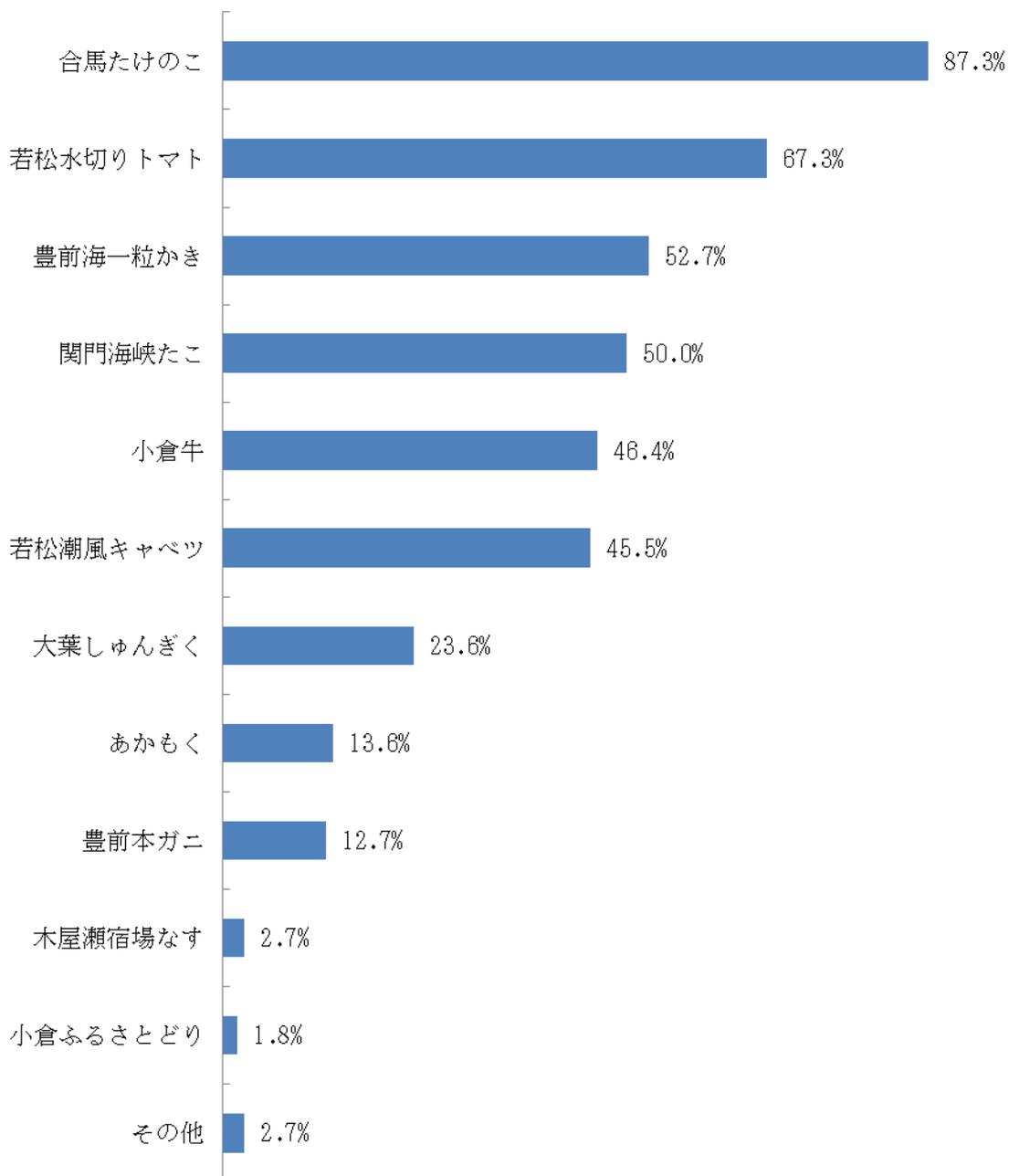


		回 答 者 数	食 べ た こ と が あ る	食 べ た こ と が な い
全 体		120人	91.7%	8.3%
性 別	男 性	53人	90.6%	9.4%
	女 性	67人	92.5%	7.5%
年 齢 別	20歳代	10人	100.0%	0.0%
	30歳代	20人	90.0%	10.0%
	40歳代	22人	90.9%	9.1%
	50歳代	20人	95.0%	5.0%
	60歳代	30人	90.0%	10.0%
	70歳以上	18人	88.9%	11.1%
区 別	門司区	17人	94.1%	5.9%
	小倉北区	21人	90.5%	9.5%
	小倉南区	26人	92.3%	7.7%
	若松区	13人	84.6%	15.4%
	八幡東区	8人	87.5%	12.5%
	八幡西区	29人	96.6%	3.4%
	戸畑区	6人	83.3%	16.7%

9割以上が「食べたことがある」という結果だった。

<問 15 で「1 食べたことがある」を選んだ方にお尋ねします。>

副問 1 その食材は何ですか。問 14 の選択肢の中から選んでください。



1位は、問14の1位と同様「合馬たけのこ」だった。上位を占めている食材は、「知っている＝食べたことがある」の傾向にあった。

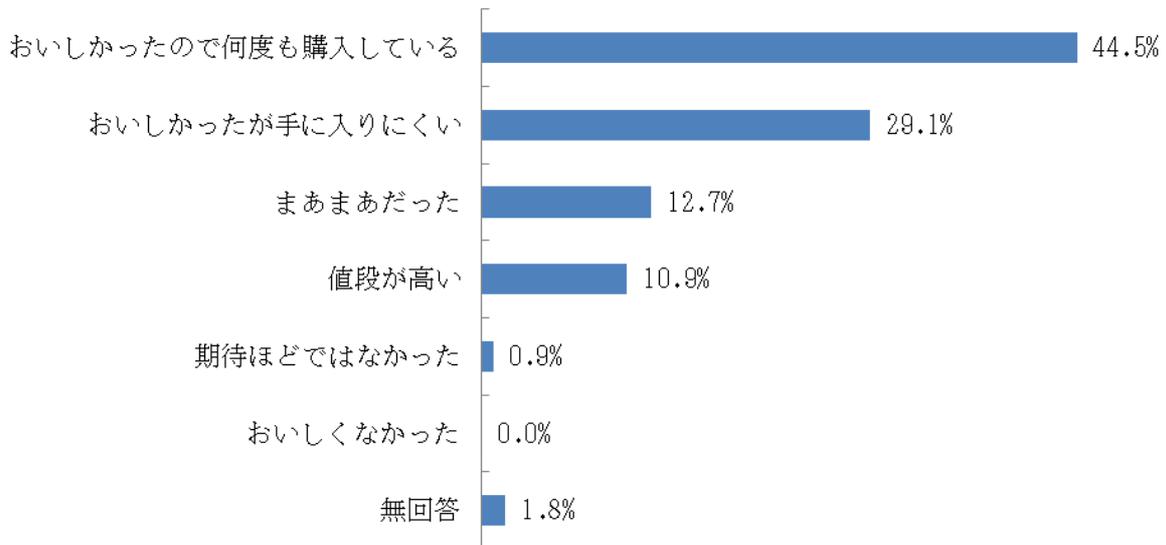
その他として「若松すいか」が挙げられていた。

		回答者数	合馬たけのこ	若松水切りトマト	豊前海一粒かき	関門海峡たこ	小倉牛	若松潮風キャベツ
全体		110人	87.3%	67.3%	52.7%	50.0%	46.4%	45.5%
性別	男性	48人	87.5%	62.5%	60.4%	58.3%	50.0%	43.8%
	女性	62人	87.1%	71.0%	46.8%	43.5%	43.5%	46.8%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	70.0%	50.0%	40.0%	30.0%	40.0%
	30歳代	18人	88.9%	50.0%	50.0%	33.3%	44.4%	27.8%
	40歳代	20人	85.0%	80.0%	55.0%	50.0%	40.0%	60.0%
	50歳代	19人	89.5%	63.2%	52.6%	68.4%	57.9%	36.8%
	60歳代	27人	85.2%	66.7%	51.9%	51.9%	51.9%	55.6%
	70歳以上	16人	93.8%	75.0%	56.3%	50.0%	43.8%	43.8%
区別	門司区	16人	100.0%	56.3%	62.5%	68.8%	56.3%	25.0%
	小倉北区	19人	84.2%	47.4%	52.6%	47.4%	42.1%	31.6%
	小倉南区	24人	83.3%	66.7%	62.5%	54.2%	66.7%	33.3%
	若松区	11人	90.9%	90.9%	54.5%	18.2%	27.3%	63.6%
	八幡東区	7人	71.4%	57.1%	57.1%	71.4%	57.1%	28.6%
	八幡西区	28人	85.7%	75.0%	35.7%	39.3%	25.0%	64.3%
	戸畑区	5人	100.0%	100.0%	60.0%	80.0%	80.0%	100.0%

		大葉しゅんぎく	あかもく	豊前本ガニ	木屋瀬宿場なす	小倉ふるさとどり	その他
全体		23.6%	13.6%	12.7%	2.7%	1.8%	2.7%
性別	男性	22.9%	2.1%	20.8%	4.2%	0.0%	2.1%
	女性	24.2%	22.6%	6.5%	1.6%	3.2%	3.2%
年齢別	20歳代	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	30歳代	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%
	40歳代	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%
	50歳代	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%
	60歳代	33.3%	3.7%	14.8%	3.7%	0.0%	0.0%
	70歳以上	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%
	小倉北区	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	29.2%	8.3%	20.8%	4.2%	0.0%	8.3%
	若松区	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%
	八幡東区	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
	八幡西区	25.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%

<問15で「1 食べたことがある」を選んだ方にお尋ねします。>

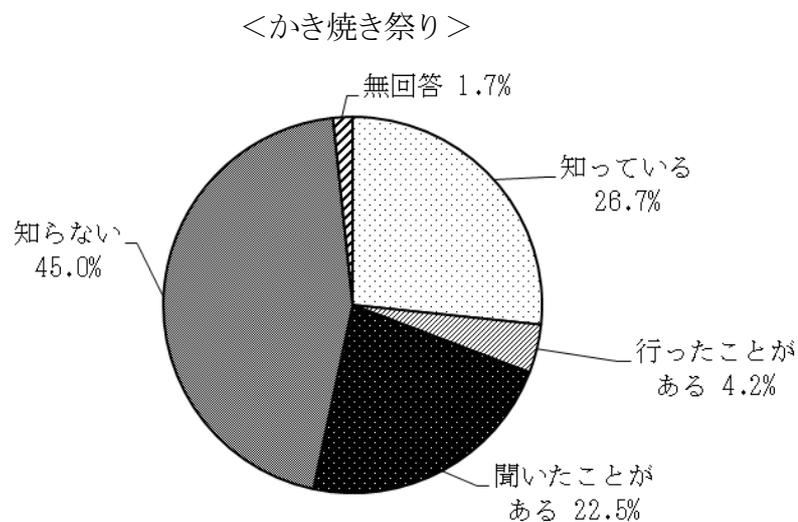
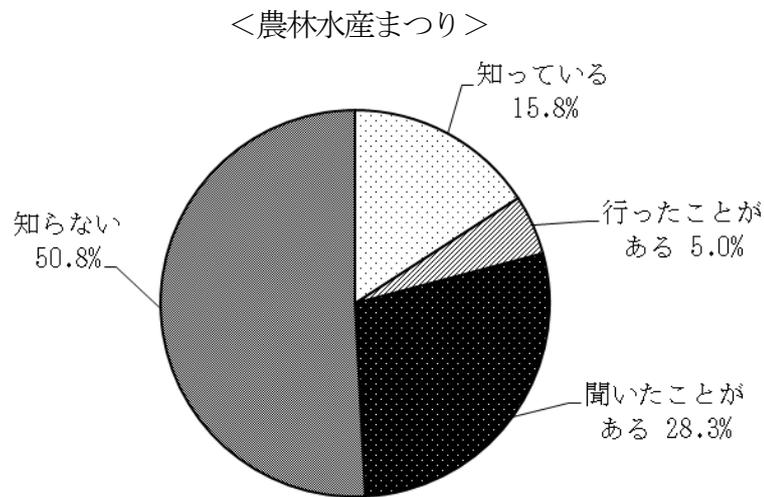
副問2 食べた感想はどうですか。



		回答者数	おいしかったので何度も購入している	おいしかったが手に入りにくい	まあまあだった	値段が高い	期待ほどではなかった	おいしくなかった	無回答
全体		110人	44.5%	29.1%	12.7%	10.9%	0.9%	0.0%	1.8%
性別	男性	48人	45.8%	35.4%	10.4%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%
	女性	62人	43.5%	24.2%	14.5%	16.1%	1.6%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	18人	33.3%	50.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	20人	45.0%	25.0%	15.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	19人	63.2%	5.3%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%	5.3%
	60歳代	27人	48.1%	22.2%	11.1%	14.8%	0.0%	0.0%	3.7%
	70歳以上	16人	31.3%	37.5%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	56.3%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%
	小倉北区	19人	26.3%	21.1%	21.1%	26.3%	0.0%	0.0%	5.3%
	小倉南区	24人	45.8%	37.5%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	11人	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	八幡東区	7人	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	28人	50.0%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5人	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「おいしかったので何度も購入している」(44.5%)が多かったが、「おいしかったが手に入りにくい」と感じる人が約3割(29.1%)、「値段が高い」も約1割(10.9%)だった。「おいしくなかった」と感じた人はいなかった。

問 16 北九州市では地元の農林水産物を知ってもらうため毎年「北九州市農林水産まつり」や「かき焼き祭り」を開催していますがご存じですか。



『農林水産まつり』は「知っている」「行ったことがある」「聞いたことがある」を合わせて49.2%の認知度であり、『かき焼き祭り』は「知っている」「行ったことがある」「聞いたことがある」を合わせて53.4%の認知度であった。どちらも西部地区（八幡西区、若松区）での認知度が低かった。

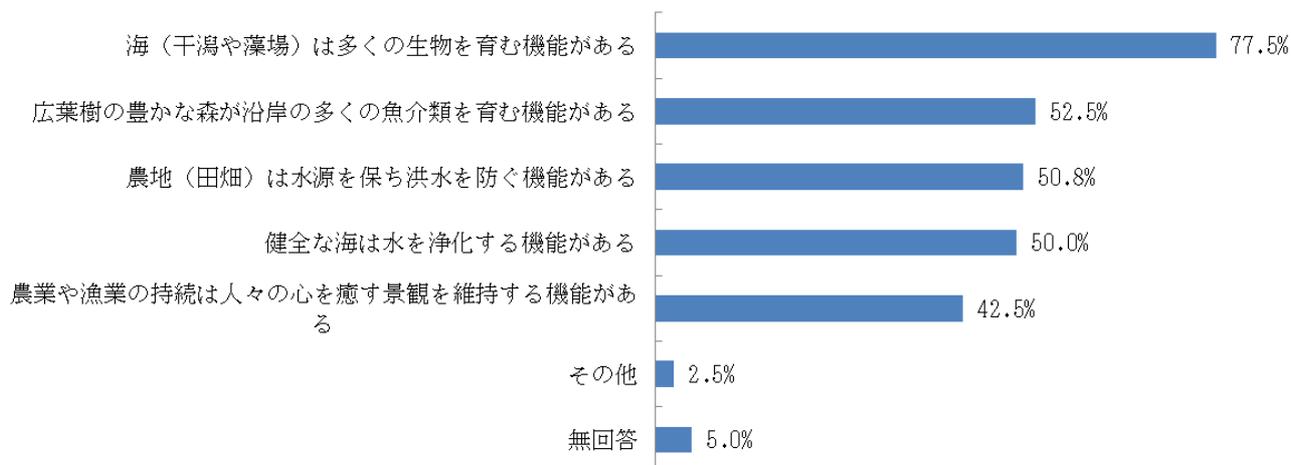
<農林水産まつり>

		回答者数	知っている	行ったことがある	聞いたことがある	知らない
全体		120人	15.8%	5.0%	28.3%	50.8%
性別	男性	53人	15.1%	3.8%	26.4%	54.7%
	女性	67人	16.4%	6.0%	29.9%	47.8%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	0.0%	0.0%	70.0%
	30歳代	20人	5.0%	0.0%	10.0%	85.0%
	40歳代	22人	9.1%	4.5%	40.9%	45.5%
	50歳代	20人	20.0%	10.0%	30.0%	40.0%
	60歳代	30人	23.3%	0.0%	33.3%	43.3%
	70歳以上	18人	11.1%	16.7%	38.9%	33.3%
区別	門司区	17人	11.8%	5.9%	29.4%	52.9%
	小倉北区	21人	14.3%	0.0%	33.3%	52.4%
	小倉南区	26人	19.2%	11.5%	26.9%	42.3%
	若松区	13人	7.7%	0.0%	46.2%	46.2%
	八幡東区	8人	50.0%	0.0%	12.5%	37.5%
	八幡西区	29人	10.3%	6.9%	20.7%	62.1%
	戸畑区	6人	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%

<かき焼き祭り>

		回答者数	知っている	行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
全体		120人	26.7%	4.2%	22.5%	45.0%	1.7%
性別	男性	53人	24.5%	3.8%	26.4%	43.4%	1.9%
	女性	67人	28.4%	4.5%	19.4%	46.3%	1.5%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	10.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	30歳代	20人	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%
	40歳代	22人	18.2%	0.0%	18.2%	63.6%	0.0%
	50歳代	20人	30.0%	5.0%	25.0%	40.0%	0.0%
	60歳代	30人	36.7%	3.3%	26.7%	33.3%	0.0%
	70歳以上	18人	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%
区別	門司区	17人	23.5%	11.8%	29.4%	35.3%	0.0%
	小倉北区	21人	28.6%	9.5%	23.8%	38.1%	0.0%
	小倉南区	26人	26.9%	3.8%	34.6%	30.8%	3.8%
	若松区	13人	15.4%	0.0%	7.7%	69.2%	7.7%
	八幡東区	8人	50.0%	0.0%	12.5%	37.5%	0.0%
	八幡西区	29人	24.1%	0.0%	17.2%	58.6%	0.0%
	戸畑区	6人	33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%

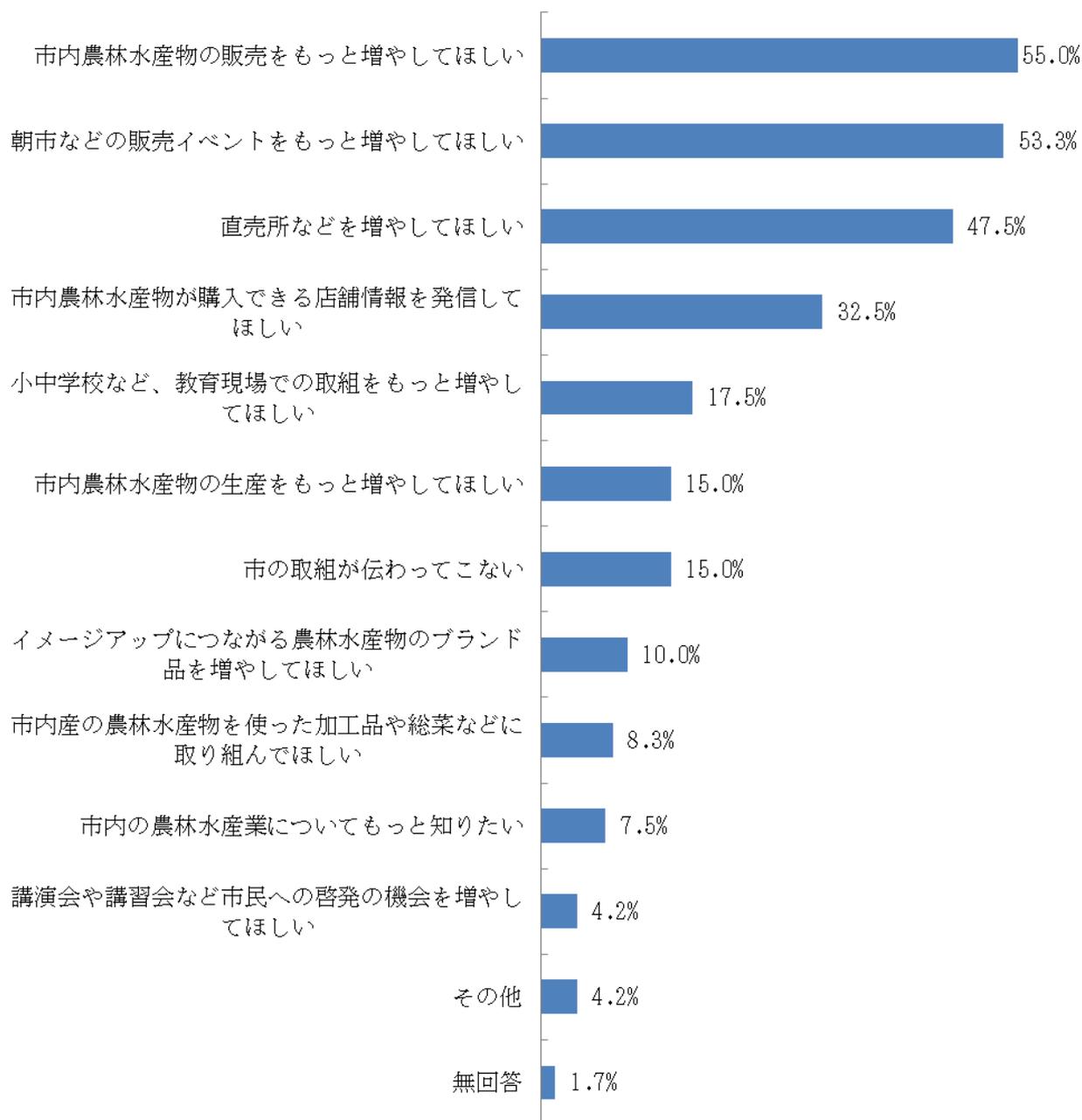
問17 農林水産業は私達に生きるための糧を与えてくれるだけでなく、他にも重要な役割を持っています。知っているものを選択肢の中からすべて選んでください。



		回答者数	海（干潟や藻場）は多くの生物を育む機能がある	広葉樹の豊かな森が沿岸の多くの魚介類を育む機能がある	農地（田畑）は水源を保ち洪水を防ぐ機能がある	健全な海は水を浄化する機能がある	農業や漁業の持続は人々の心を癒す景観を維持する機能がある	その他	無回答
全体		120人	77.5%	52.5%	50.8%	50.0%	42.5%	2.5%	5.0%
性別	男性	53人	77.4%	66.0%	54.7%	58.5%	43.4%	3.8%	1.9%
	女性	67人	77.6%	41.8%	47.8%	43.3%	41.8%	1.5%	7.5%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	40.0%	70.0%	70.0%	50.0%	20.0%	10.0%
	30歳代	20人	85.0%	40.0%	35.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
	40歳代	22人	72.7%	45.5%	50.0%	59.1%	27.3%	0.0%	4.5%
	50歳代	20人	70.0%	35.0%	40.0%	45.0%	25.0%	0.0%	5.0%
	60歳代	30人	80.0%	66.7%	53.3%	60.0%	63.3%	0.0%	6.7%
	70歳以上	18人	77.8%	77.8%	66.7%	50.0%	61.1%	0.0%	0.0%
区別	門司区	17人	82.4%	41.2%	47.1%	41.2%	17.6%	0.0%	5.9%
	小倉北区	21人	66.7%	61.9%	47.6%	57.1%	42.9%	9.5%	9.5%
	小倉南区	26人	96.2%	42.3%	46.2%	46.2%	42.3%	3.8%	3.8%
	若松区	13人	92.3%	53.8%	30.8%	38.5%	53.8%	0.0%	7.7%
	八幡東区	8人	50.0%	50.0%	50.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	65.5%	55.2%	62.1%	55.2%	48.3%	0.0%	3.4%
	戸畑区	6人	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	66.7%	0.0%	0.0%

1位は「海は多くの生物を育む機能がある」（77.5%）、2位は「広葉樹の豊かな森が沿岸の多くの魚介類を育む機能がある」（52.5%）、3位は「農地は水源を保ち洪水を防ぐ機能がある」（50.8%）であった。

問 18 今後の地産地消の推進についてご要望をお聞かせ下さい。選択肢の中から3つまで選んでください。



上位3位を前回の結果と比較すると、「販売の増加」53.9%（3位）→55.0%（1位）、「イベント」67.4%（同率1位）→53.3%（2位）、「直売所の増加」67.4%（同率1位）→47.5%（3位）、となり、若干の変動があった。

		回答者数	市内農林水産物の販売をもっと増やしてほしい	朝市などの販売イベントをもっと増やしてほしい	直売所などを増やしてほしい	市内農林水産物が購入できる店舗情報を発信してほしい	小中学校など、教育現場での取組をもっと増やしてほしい	市内農林水産物の生産をもっと増やしてほしい
全体		120人	55.0%	53.3%	47.5%	32.5%	17.5%	15.0%
性別	男性	53人	47.2%	35.8%	37.7%	35.8%	20.8%	15.1%
	女性	67人	61.2%	67.2%	55.2%	29.9%	14.9%	14.9%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	80.0%	50.0%	20.0%	10.0%	20.0%
	30歳代	20人	55.0%	55.0%	45.0%	30.0%	20.0%	5.0%
	40歳代	22人	59.1%	68.2%	45.5%	18.2%	27.3%	22.7%
	50歳代	20人	55.0%	55.0%	30.0%	25.0%	15.0%	20.0%
	60歳代	30人	53.3%	36.7%	50.0%	53.3%	16.7%	10.0%
	70歳以上	18人	50.0%	44.4%	66.7%	33.3%	11.1%	16.7%
区別	門司区	17人	47.1%	76.5%	58.8%	35.3%	17.6%	5.9%
	小倉北区	21人	57.1%	47.6%	38.1%	33.3%	9.5%	23.8%
	小倉南区	26人	42.3%	57.7%	57.7%	34.6%	19.2%	11.5%
	若松区	13人	61.5%	38.5%	61.5%	30.8%	23.1%	30.8%
	八幡東区	8人	62.5%	50.0%	75.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	29人	55.2%	48.3%	24.1%	27.6%	20.7%	17.2%
	戸畑区	6人	100.0%	50.0%	50.0%	33.3%	33.3%	0.0%

		市の取組が伝わっていない	イメージアップにつながる農林水産物のブランド品を増やしてほしい	市内産の農林水産物を使った加工品や総菜などに取り組んでほしい	市内の農林水産業についてもっと知りたい	講演会や講習会など市民への啓発の機会を増やしてほしい	その他	無回答
全体		15.0%	10.0%	8.3%	7.5%	4.2%	4.2%	1.7%
性別	男性	22.6%	11.3%	7.5%	9.4%	9.4%	7.5%	1.9%
	女性	9.0%	9.0%	9.0%	6.0%	0.0%	1.5%	1.5%
年齢別	20歳代	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	10.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	9.1%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%
	50歳代	5.0%	20.0%	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	26.7%	10.0%	13.3%	16.7%	10.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	22.2%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%
区別	門司区	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	14.3%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%
	小倉南区	3.8%	3.8%	11.5%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
	若松区	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	八幡西区	27.6%	10.3%	10.3%	17.2%	3.4%	10.3%	0.0%
	戸畑区	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

問 19 その他本市の農林水産業についてご意見がありましたらご自由にお書き下さい。

本市の農林水産業について55件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

その他の内容	性別	年齢区分	居住区
各区に地産地消のための品物を大型ショッピングセンターで常に販売する組織的活動が必要と思う。	男	70	門司区
水産業については、海のもの（魚、貝、ノリ等）が育っていない。養殖やもう少し育て方など研究して海の活性化に努めて欲しい。	男	60	門司区
価格力を努力してほしい。	男	50	小倉北区
一層の地産地消の推進を期待します。	男	40	小倉北区
大きな直売所が増えているのは嬉しいのですが、場所によってはかなりの高値でとても残念、傷ものでも安くなければ交通機関、ガソリン代を出してまでは行かなくなると思います。やはり値段は抑えてみんな市、県を豊かにしていきたいです。	男	40	小倉南区
「美味しい良いものを地元で安く味わえる。」「北九州に着いたら、〇〇を安く美味しく食べれた。」というようになって欲しい。合馬のたけのこは地元でほとんど食べれないのでは？という感じです。	男	20	小倉南区
若松の野菜類をもっとPRしてほしい。	男	60	小倉南区
市政だよりやテレビ等でもっとイベントのPRをして欲しい。	女	50	小倉南区
農業をすることは、自分も美味しく安全なものが食べられるし、子供も一緒に取り組めば教育にもいいと思うので、本格的にとはいかなくても余暇を使って取り組んでみたいと思っているが、ノウハウがないので市などで講習の機会を設けてくれるとうれしい。住宅地の近くで農園などがあると良いと思う。	女	40	若松区
所によっては、スーパーしかない地域もあり、スーパー等では価格の面を思われて地元産が少ない。小売店等を増やしていく方法を考えていくべき。	男	70	若松区
直売所を市内中心地に設置すべき。	男	20	八幡東区
特にトマトが美味しいと思います。値段が割高になるは仕方がないと思うのですが、規格外品などで安く提供してもらおうと購入しやすくなると思います。	女	40	八幡東区
産地で取れる、産地で新鮮なまま食せるイベント企画でマスコミに取り上げてもらう方法（宣伝）を講じてもらいたい。	男	70	八幡西区
地産地消ということが今、各地で行われているのは知っているが、北九州での具体的な取り組み（イベント）はほとんど知らない。もっと市民が手軽に情報を手に入れられるようになるとうれしいと思う。	女	30	八幡西区
地産地消の取り組みをしていることは知っているが、なかなか手に入りにくかったり、価格が高くいつも食べようという感じにはなれないことも多いので、身近に手に入るもので、購入しやすい価格のものを増やしていくことが意識を高めることにもつながると思います。	女	20	八幡西区
地元の食材を使ったランチを語らいながら楽しめるお店があれば・・・と思います。（地元以外の人を案内できる処、年配者にもよい処）	女	60	八幡西区
戸畑区在住ですが、他の区の農林水産物が、居住区で簡単に入手できるよう朝市開催や大型スーパー等にもっと沢山出展してほしい。	女	60	戸畑区
市内の各駅周辺で曜日を決めて又は月2回程度、朝市などのイベントを提供してほしいと思います。	女	70	戸畑区

IV 全体考察

今回の市政モニターアンケートは、平成22年度に行った第6回市政モニターアンケート「地産地消についての意識調査」とほぼ同様の質問内容のアンケートであり、継続調査として行ったものである。

購入先に関する設問では、主な買い物先は「スーパー・量販店」「小売店」の順になり、市内産農林水産物(以下、市内産)を見かける主な販売場所は、スーパー・量販店(68.3%)に次いで直売所(39.2%)となり、前回調査と同様の結果となった。直売所よりスーパー・量販店のインショップの方が市内産を良く見かけるという結果であった。購入の基準に関する設問では、1位「鮮度・質」、2位「価格」、3位「産地」という結果であったが、年齢別の20歳代では「価格」が1位であった。購入基準で「産地」を選んだ人は120人中105人おり、その理由として「生産地がわかると安心できる」が圧倒的に多く、105人中101人(96.2%)ができるだけ国内で生産されたものを選ぶと回答している。市内産についての感想は、「新鮮である」と「安心である」が主な感想となった。よく購入する市内産は1位「キャベツ」・「トマト」(70.0%)、3位「大根」(50.0%)であり、前回調査と比較すると順位は変わったが上位5品目に入れ替わりはなく、牡蠣11位→10位、水菜8位→12位という結果であった。

直売所や朝市に足を運んでもらうためには、どうすればよいかの設問では、「宣伝し、認知度を高める」(60.8%)が最も高かった。「地産地消」、「地元いちばん」という言葉については、前回調査と比較すると「知らない」が減少し、どちらも浸透してきていると言えるが、市独自の制度である『地産地消サポーター制度』については「知らない」(65.0%)は、1ポイント減少したが認知度が低いことがわかる。「地元いちばん」の幟(のぼり)旗を見たことがあるかの設問では、前回調査と同様に6割以上の人が見たことがあると回答した。地産地消のメリットについては、新鮮な農林水産物の購入や地元農林水産業の活性化を期待する声が高かった。

「北九州カニ・カキロード」については、「知っている」、「行ったことがある」、「聞いたことがある」を合わせると7割以上が認知しており、認知度は10ポイント以上高くなっている。「かき小屋」についてもほぼ同様の結果であったが、若松区においては認知度が低かった。

知っている市内産について尋ねたところ、ほぼ全員が「合馬たけのこ」(97.5%)を知っており、「豊前海一粒かき」・「小倉牛」(80.8%)、「関門海峡たこ」(75.8%)、「若松水切りトマト」(75.0%)という結果で、上位4品目は商標登録されている食材である。これらの認知度が高いことから、商標登録は認知度を上げる有効な手段であると考えられる。「知っている」市内産を食べたことがあるかの設問では、9割以上が「食べたことがある」と回答し、「合馬たけのこ」(87.3%)、「若松水切りトマト」(67.3%)、「豊前海一粒かき」(52.7%)、「関門海峡たこ」(50.0%)、「小倉牛」(46.4%)となっており、上位を占めている食材は、「知っている＝食べたことがある」の傾向にあった。食べた感想については、約半数の人(44.5%)がおいしく感じ何度も購入しているが、反面おいしかったが手に入りにくい(29.1%)と答えた人の割合も高かった。しかし、「おいしくなかった」と答えた人はいなかった。

「農林水産まつり」や「かき焼き祭り」については、前者は「知っている」、「行ったことがある」、「聞いたことがある」を合わせて49.1%、後者は「知っている」、「行ったことがある」、「聞いたことがある」を合わせて53.4%で、西部地区(八幡西区、若松区)では認知度が低かった。

今回新たに設問に加えた農林水産業の役割(農林水産業の多面的機能)では、どの年代でも「海(干潟や藻場)は多くの生物を育む機能がある」(77.5%)と答えた人が多く、区別に見ると、小倉南区ではほ

ば全員(96.2%)が「知っている」と答え、身近に曾根干潟があることが要因のひとつと考えることができる。

今後の地産地消の推進に関する要望では、「販売の増加」53.9%(3位)→55.0%(1位)、「イベント」53.9%(1位)→53.3%(2位)、「直売所の増加」67.4%(1位)→47.5%(3位)で、大きな変動はなかった。

市民の安全・安心な農林水産物に対する関心や農林水産業に対する期待が高いことから、農林水産業活性化に対する理解があると言える。今後も効果的なPRやイベントが必要であり、市内産農林水産物や購入場所やイベントの認知度をさらに高める必要がある。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局広聴課(TEL:582-2527)

【アンケートに関すること】

産業経済局地産地消推進課(TEL:582-2080)